

土壤医をめざして

祢次金 正 洋*

1 土壤医試験を受けたきっかけ

私が勤める平金産業株式会社は、静岡県に工場を構え魚粉を使った発酵肥料を製造しており、全国各地の篤農家を中心としたお客様に販売を行っています。

私は肥料の販売業務に携わっており、日々生産者や指導員の方々と関わる機会があります。私は今33歳という年齢ですが、生産者の平均年齢が65歳といわれるように、現役の農家さんの多くが、私の大先輩です。

当然、肥料を販売する立場として、自社製品の特徴を説明することはあるのですが、毎日作物に接する農家さんからの質問は様々です。「肥料はちゃんとやっているのに、なぜ葉っぱの色が黄色いの?」「この斑点はなんの病気だ。」「もっと糖度を高くしたいけど、どうすればいい?」「なんで玉伸びしないの?」

生産者の方々は、農業で収益を得る為に「作物を健全な状態に育てるにはどうしたらよいか」を毎日考えています。百人百様に様々な課題を抱えています。お客様から質問をいただいた際には、インターネットや書籍で調べて返答していましたが、答えを出すまでに随分時間をかけてしまったり、お客様が

満足できる回答をすることができないことがありました。

また、篤農家の方やブランド産地の生産者の方々とお話をする中で、美味しい野菜を作るすべての生産者が、土づくりに力を注いでいることを深く感じていました。

このような私自身の状況から、農作物を健全に生育させる土づくりについて、学んでいきたいと考えていました。

そこで土壌や作物生育に関する知識を得るために、関わりのある資格がないかを探していましたが、普及指導員や施肥技術指導員などは特定の組織に従事している人にしか取得することができないなど、実際にいくつかある農業に関する資格試験に受験することはで



*平金産業株式会社、土壤医

きませんでした。

そんな時に肥料を卸している販売店の方から、土壤医試験を紹介していただきました。

土壤医試験は、作物の栽培に関する土壌や肥料の知識を深く学ぶことができ、この試験の参考書や研修は非常に役に立っているとのことでした。また1級については実務経験が必要ですが、2級3級については、この試験は誰でも受けることができることがわかり、受験させていただくことになりました。

2 研修会について

試験に関する情報がなかったなので、最初は参考書を購入し、土壤医検定研修会に参加しました。

実際に試験勉強を始めたのは研修会を受けた後からです。研修会は大変参考になりました。ご説明いただいた研修の内容は土壌に関する基礎知識だけではなく、現場での課題解決の為の具体的な事例を紹介しています。

また、1級受験レベルの研修会では班ごとのディスカッションがあります。作物や圃場の写真を見て、生理障害の原因と解決方法等を話し合うのですが、各々解決方法についてのアプローチが違い、様々な意見を聞くことがとても参考になります。

試験対策ということよりも、自身の業務に役立つ大変有意義なものになりました。

3 試験勉強について

この研修会の後に試験勉強を始めました。試験勉強に関しては特に復習に力を入れて進めていきました。

人は暗記しても1日後には7割の事を忘れてしまうそうです。

勉強の方法は、研修会でいただいた資料を

1日二項勉強し、1項は復習で、前日勉強した内容を翌日も間違えないかチェックするという方法を取りました。スライドの題目を見て以降に何が書いてあるか、数値を間違えずに回答できるか等を確認します。

参考書については1日に何ページか読み進めるという方法を取りました。

ページ数が多かった為、移動時間なども読み流すことをしていました。また当時は三級の過去問題集しかありませんでしたが、過去問題集も間違いがないように繰り返し復習を行いました。

4 業績レポートについて

業績レポートについては、土作り指導を選択しました。私は静岡という土地柄もあり、茶園の収量・品質改善についてレポートを作成しました。

生産者の方と一緒に取り組んで品質改善を行った際の事例を、目的、概要、結果に分けて作成しましたが、文章だけでは伝えにくい点がありましたので、年間の施肥設計と管理作業の表を添付し、なんとかB判定という評価をいただきました。

学生時代の卒業論文を思い出し、なんとか完成しました。



5 最後に

この土壤医試験に出会えたことに本当に感謝しています。試験勉強や研修を通じて覚えた知識は、より良い肥料を作る為にも、生産者の方々の課題解決をする為にも、本当に役立っています。

また、TPP参加が叫ばれる中で土壤医が

増えて行くことは、国際競争に負けない農業を行う生産者の手助けになると思います。日本の農業の発展の為に、この土壤医試験や日本土壤協会の活動を、一人でも多くの人々に知ってもらいたいと思います。

農業に関わる人についてはこの資格は、必ずプラスになるはずです。

ぜひ土壤医を目指して下さい。

